



OSAKA JAPAN

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27  
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

### ◇ 2009年5月12日 第905回例会(第904号) ◇

#### ◎ 本日の例会 ◎

今週の歌 「君が代・奉仕の理想」

卓話 「原爆に母と姉を奪われて」

豊中市原爆被害者の会

会長 伊達昭夫様

(庄瀬会員紹介)

#### ◎ 次回例会のお知らせ(5月19日) ◎

卓話 「健康とアンチエイジング」

INFA国際エステッシャン

仮屋園文子様

(速見会員紹介)

#### 前回〔4月21日〕例会記録

#### 来客

溝畑寛治様(関西大学教授)

三浦敏弘様(関西大学教授)

林白玫さん(米山奨学生)

#### 会長の時間

八橋会長

本日は関西大学から溝畑寛治教授、三浦敏弘教授をお迎えしています。

関西大学さんには、ライラではたいへんなご尽力をいただき感謝いたしております。また本日はお忙しい中、吹田江坂ロータリークラブの例会にも出席していただきありがとうございます。吹田江坂ロータリークラブ20周年にむけて、提唱している大学RAC設立につきましてもたいへんなご尽力をいただき感謝いたします。本日はお話を拝聴できると言う事ですのでよろしく御願いたします。

3月24日に元プロ野球選手の桑田真澄さんに卓話

#### 出席報告

水谷委員

【4月21日】

在籍会員 39名(内出席規定適用免除者 8名)

出席会員 32名(内出席規定適用免除者 4名)

ホームクラブ出席率 91.43%

3月31日のMUを含む出席率 97.22%

をしていただきましたが、その「試練が人を磨く」の講演内容をまとめるよう事務局の濱谷さんに御願いしました。そしたらパソコンで作成して、写真まで入れて補遺編として作成してくれました。本日配付させていただいておりますが、再度桑田真澄さんの人間味にふれてみて下さい。

濱谷さんへ・・・忙しいのに無理いってごめんなさい。ありがとう。

#### 幹事報告

西本 SAA

◎長澤義雄会員が3月31日付にて、退会されたのでご報告申し上げます。

◎新会員加藤正樹氏、小笠原史朗氏に対する異議受付はありませんでした。5月12日(火)に、入会式を行います。

◎吹田JC40周年記念式典・記念事業の案内が参っております。詳細は本日の週報に掲載しております。チケット入用の方は、木元幹事まで。

◎来週の4月28日(火)は、休会です。次回例会は5月12日(火)です。

#### 友好クラブ委員会

西本 副委員長

友好クラブの台北龍門RCより、授証9周年祝賀会及びMGプロジェクトの贈呈式の案内が参りましたので、別紙配付のとおり、2つのコースを用意しました。参加希望の会員はお選びいただき西本までお申込下さい。

## ニコニコ箱

西上会員 関西大学より溝畑、三浦両教授をお迎えして。

大森会員 欠席申し訳ありません。

本日分 10,000円 累計 1,171,140円

## 卓話

### 「ロータリー・ソング勉強会Ⅱ」

栢本淑子会員

本日の練習曲

- ♪ ロータリーって何だろう
- ♪ 友達になろう      ♪ 日も風も星も
- ♪ 奉仕の理想      ♪ 手に手つないで

### ■ロータリー・ソング

#### 初めてのコーラス

ロータリーにおいて、一世紀を超える「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905年にロータリーが創立したとき、最初に会員となった4人に次いで、5番目にロータリーに入った人、ハリー・ラグルスです。

1905年、アメリカのシカゴでロータリーは生まれましたが、その折、創始者ポール・ハリスと、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローアら4人の集いに加わり、5人目の会員となったのが職業分類・印刷業のハリーでした。

シカゴロータリークラブ(RC)の会員になったハリーは、ポール・ハリスの評によると一見無愛想で、クラブ入会の紹介時には「果たしてクラブに入って、ロータリーの友好を実現できるだろうか」と内心危ぶまれたほどの人だったようです。実はハリーはもともと歌うことが大好きな人でした。

もっとも、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたので、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。

産声を上げたばかり、1905年のロータリークラブの、ある秋の日の夜の例会について『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』(P30)には、以下のように記されています。

「1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリー・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった」

これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。しかし、このとき歌われたのは、いわ

ゆるロータリー・ソングではなく、当時の流行歌でした。

#### 日本では

日本最初のロータリークラブは、1920年創立の東京ロータリークラブですが、初めのころは「ロータリー・ソング」として英語のまま歌っていたそうです。

当初はアメリカ人会員E. D. バートンが会員に歌を歌わせようとして指導したものの、皆「児童に類する……」としてあまり乗り気でなかったようです。彼は、日本におけるソングリーダーの草分け的存在でしたが、その努力は1926年ころになってようやく認められ、1927年のインターシティー・ミーティングのときには、会議中にも会議後の観光バスの中でも、会員の家族が中心となってロータリー・ソングが歌われ、会員もやっと、歌うことが親睦の源であると理解した、と東京RCの記録にあります。家族は、日本のロータリーに歌うことを推し進める大きな力となりました。

やがて、日本語によるロータリー・ソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我等の生業」が1935(昭和10)年、京都における地区大会において、日本語ロータリー・ソング入選作として発表されました。戦争中は、「君が代」の斉唱が始まりました。1949年、日本は国際ロータリーに復帰しますが、1951年にロータリー・ソングが募集され、「手に手つないで」がつくられました。これは、1952(昭和27)年7月から、日本のロータリーが2つの地区に分かれるという事態に当たり、これからも友情を確かめ合い、手に手つないでいこう、と誓い合った歌です。「それでこそロータリー」も古く、1953年に誕生しています。

こうして、ロータリーの例会では歌を歌うことが習慣となり、この習慣はアメリカの多くのクラブに波及し、今日では、オーストラリア、日本、ナイジェリア、ニュージーランド、カナダなどのさまざまな国のロータリー例会におけるポピュラーな親睦行事となっています。

国際協議会でも、毎朝、本会議が始まる前に各国で親しまれている歌を皆で歌います。しかし、ヨーロッパ、南米、アジアのロータリークラブの例会でロータリー・ソングが歌われることはあまりないようです。

歌い方もいろいろで、例会の初めに国歌を歌うクラブもあれば、童謡を必ず歌うところもみられます。

皆さまのクラブではいかがですか? クラブ独自の歌を作り、歌っているところもあります。

(ロータリージャパンより)